

平成 29 年度 中信地区環境教育ネットワーク事業報告

1. 小中学校環境学習支援

(1) 松本市小中学校環境教育支援事業への協力

- ・松本市環境政策課、松本市教育委員会を通して松本市内の小中学校に中信地区環境教育ネットワークの登録プログラムを紹介し、環境学習実施に向けた支援を行った。
- ・1年間で延べ37件の環境学習に講師を派遣した。(資料「実施状況」「H29年度報告書」参照)

(2) お試しプログラムの提供

- ・より多くの学校で環境学習に取り組んでいただくため、講師料を当会で負担してお試しプログラムを提供した。
- ・6件のプログラムに対して申込みがあった。内5件は初めて環境学習を始めて利用される先生からの申し込みだった。

松本市小中学校環境教育支援事業申込数の推移

	申込件数	利用プログラム	学校数	備考
22年度	6件	3種	4校	
23年度	27件	9種	14校	緑のカーテン開始。
24年度	41件	13種	19校	
25年度	30件	12種	19校	1人5000円の講師料をルールとした。
26年度	30(年度当初23)件	16(内お試し9)種	19校	コミュニティスクールの推進が学校の重点課題に。
27年度	40(年度当初30)件	19(内お試し3)種	21校	重点学校支援開始(年間2校)
28年度	33(年度当初22)件	19(内お試し2)種	17校	環境学習サポートサイト構築
29年度	37(年度当初22)件	19(内お試し6)種	18校	

※松本市内学校数 小学校30校(内分校2)、中学校23校(内分校3)

2. 環境学習プログラム向上に向けた取り組み

(1) 田川小学校川学習への支援(つながる学習)

田川小学校の川学習テーマに、を「つながる学習」として支援。講師料等の金銭的支援とプログラムの組み立ての支援を行った。(パワーポイントの報告を参照)

【評価】

- ・小学校低学年での川を中心とした環境学習の1つのモデルを示すことができた。
- ・環境学習の入り口として5感で感じるところから知識や分析につながる興味を引き出すプログラムを提供することができた。

(2) 信州の環境学習サポートサイト(中信地区)に過去の実践例を掲載

- ・220件の実践報告書をWEBに掲載。
- ・運用開始後1年で、約1万8000件のアクセスがあった。過去の実践例を教材研究に使っていただけている可能性は高い。